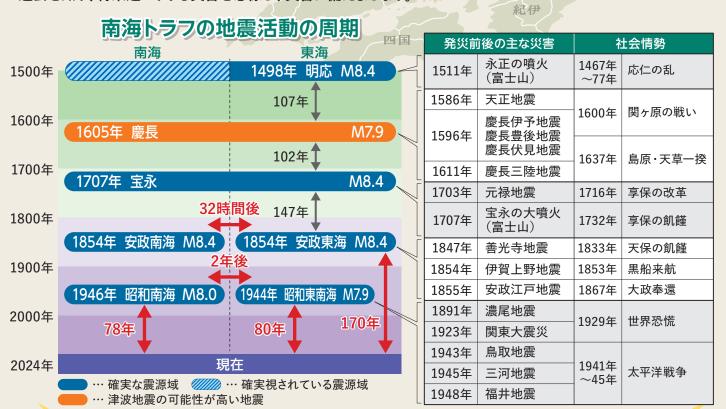
# 過去に学び未来に備える

# あいち・なごや強靱化共創センター

いつ大規模な災害が起きてもおかしくありません。

歴史を振り返ると大災害の前後には大きな社会情勢の変化がありました。

過去を知り、将来起こりうる災害を想像し、災害に備えましょう。



# 産業集積地である愛知・名古屋圏で大災害が起こると 日本の経済にも大きな損失となる…

あいち・なごや強靱化共創センターでは防災・減災対策として、 様々な取組みを実施しています!!

### そもそも「あいち・なごや強靱化共創センター」って…?

愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が大規模災害発生時においても維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、愛知県、名古屋市、名古屋大学は2017年6月、産業界と共に「あいち・なごや強靱化共創センター」を設立しました。

### 防災・減災カレッジ

県民一人ひとりの防災意識を高め、 地域で『自助』・『共助』の取組を推 進する防災人材を育成するため、産 学官民の連携・協働による防災人材 育成研修「防災・減災カレッジ」を毎 年開催しています。



# 防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎」

東北と中部の防災活動に取り組む NPO・ボランティア団体、学生等の 防災人材が一堂に会し、東日本大震 災の経験をこの地域でつなぐととも に、防災人材同士の交流を通じて地域の防災活動の活性化につなげる場として開催しています。



### 産業防災研究会

伊勢

2022年6月に「産業防災研究会」を立上げ、以下に示す「場」となることを目指して参加者相互の議論を進めています。

- ・産学官の顔の見える関係を構築できる「場」
- ・地域の課題を共有できる「場」
- ・オープンで前向きな議論ができる「場」
- ・地域の課題を解決する道筋をつける「場」



# 昭和東南海地震、三河地震から80年…過去に学び未来に備えましょう

### 愛知県の被害

愛知県では438名の死者が出ており、この 地震で最も深刻な被害を被った。

軟弱な地盤、耐震性能が著しく劣る建物、避 難路の確保が不十分といった3つの悪条件 が重なった場所で被害が発生した。

# 東南海地震

(1944.12.7)

阿智村

。曹根村

下修村

恵那山 🛆

静岡市では295名の死者が出ており、数 か所で震度7に相当する揺れがあった。 大きな揺れがあったのは、袋井市・磐田 市の太田川、菊川市・掛川市の菊川の中 下流域の軟弱地盤が中心である。

静岡県の被害

# 宮市 d 泰日井市 名古屋市 0津島市 0 愛西市 弥宣市

#### 名古屋市南区の被害 最大震度6の揺れ

埋立地にあった レンガ造りの三菱 重工・道徳工場が 倒壊。64名が犠牲 となった。



港防災センターより提供

### 静岡市の被害

最大震度6の揺れ

太田川・菊川の中下流域についで被害が大き かった旧清水市の巴川下流域では、上一丁目 (被害率61.9%)の周辺と松井町・幸町(被害率 58%及び62.8%)の周辺2箇所の被害率が高く、 局所的な被害分布となった。

最大震度7の揺れ



### 半田市の被害

阿久比川河口の埋立地 である山方新田に立地 していたレンガ造りの 中島飛行機製作所・山 方工場が倒壊。153名 が犠牲となった。



半田市役所より提供

### 袋井市の被害

今井村におい て、総戸数336戸 中322戸(全壊 率95.8%)という 激甚な被害が発 生している。



153

出典:「袋井市防災中」平成22年12月発行 袋井市役所

# 。静岡市

焼津市

#### 豊橋市の慰霊碑

学徒動員として中島飛行機 製作所・山方工場に派遣さ れた豊橋高等女学校と愛知 実修高等女学校の犠牲者を 恒む「観音像」がある。



出典:愛知県「歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト」より



Google

## 三重県の被害

三重県では406名の死 者が出ている。

地震動が強かった市町 村は少なく、ほとんどの 被害は津波によるもの と結論されている。尾鷲 町(現尾鷲市)において は8~10mの津波が襲 来した。

名張市

尾鷲市



#### 四日市市の被害

#### 最大震度6の揺れ

埋立地の工場で生産設備 への被害が発生しており、 煙突の倒壊や液状化によ る地盤沈下、タンクのパル プ破損による硫酸流出事 故などが発生した。



出典:「四日市市制80周年記念 目でみる郷土史四日市のあゆみ」 昭和53年6月発行 四日市市役所

## 深溝断層近辺での被害

三河地震では現在の蒲郡市形原町から幸 田町深溝を経て、西尾市志籠谷町に至る 18kmの深溝断層が地表面にあらわれた。 この地表に現れた断層を境にして被害の 様相が異なる。上盤側(断層の西側)では ほとんどすべての家屋が倒壊しているの に対し、下盤側(断層の東側)では屋根瓦 も落ちないという場所が見られた。



深溝断層

### 蒲郡市の被害

形原町金平集落において は、断層の上盤側のほと んどすべての家屋が倒壊 している。下盤側では、倒 壊した家屋は1件もない。



→ 蒲郡市

蒲郡市役所より提供

### 三河地震 (1945.1.13)

#### 安城市の被害

桜井村藤井集落では、 117戸中107戸が全壊 し、全人口611人中77名 が死亡、97名が重傷を 負うという大きな人的被 害が発生した。



碧南市教育委員会より提供

### 幸田町の被害

幸田町深溝地区では、 死者33名、人家の全壊 40戸であった。被害は断 層上盤側に集中してお り、全壊家屋40戸中38 戸が上盤側であった。



Google

### 被害概要:内閣府防災「報告書(1944東南海地震 1945三河地震)」及び 名古屋大学減災連携研究センター「昭和19年 東南海地震」を基に作成 ※写真は被害のあった市町村における当時の様子です。

### 尾鷲市の被害

大台町

大紀町

### 最大震度5の揺れ

九鬼村において、石油タンクが海に流れ出し、

津波により石油タン クが流された世界 最初の例となった。 (二木島(現伊勢市) においても同様に 流出した)



出典:みえ防災・減災アーカイブ「昭和19年 東南海地震による 被災写直(尾鷲市) より